

区画整理だより

篠原土地区画整理事業

平成 28 年 8 月発行

第 8 号

南国市都市整備課土地区画整理係
☎088-821-7373

仮換地計画（案）の再縦覧を実施しました

本年 3 月実施の仮換地計画（案）の縦覧期間に提出された意見書のうち、採択した意見書に基づいて仮換地計画（案）を変更しましたので、変更箇所について再縦覧を行いました。再縦覧期間中、変更箇所について意見書の受付を行いました。意見書の提出はありませんでした。

- 期 間 平成 28 年 7 月 22 日（金）～平成 28 年 7 月 28 日（木）
- 通知者数 6 名（変更対象地の地権者数で、共有は 1 名としています。）
- 縦覧者数 3 名（内訳 所有権者 2 名
所有権者親族等 1 名）
- 意見書提出数 0 件

都市計画道路高知南国線の埋蔵文化財発掘調査（県）が始まりました

8 月下旬より、高知県による高知南国線起業地の埋蔵文化財発掘調査が始まり、調査機関である（公財）高知県文化財団埋蔵文化財センターの職員の方をはじめ、たくさんの作業員の方が発掘作業に取り組まれています。



篠原土地区画整理事業の施行地区においても、来年度から市教育委員会による発掘調査を開始する予定です。

区画整理だよりでは「しのはら歴史さんぽ」と題しまして、篠原地区の歴史や発掘調査の結果などについてご紹介していきます。

「しのはら歴史さんぽ」は裏面をご覧ください。

～ 地名から垣間見える歴史 ～

地名は、沼や泉、田などの環境をもとに名付けたものや、寺社や屋敷、巨木、岩などのランドマークをもとに名付けたものなど、その土地の特徴や変遷がよく反映されており、地域の歴史を現在に伝えるメッセージが隠されていることがあります。

それでは、本事業施行地区周辺の小字図を見てみましょう。



施行地区周辺の小字名には、「若宮」や「久留守」といった文字が見られます。「若宮」は現在東工業高校の西に鎮座する若宮八幡宮を指し、「久留守」は久留守大明神という神社があったことに由来しています。若宮八幡宮は、もともと「若宮」という小字の地に鎮座していましたが、舟入川開削のために川の北側に移され、延享元（1744）年に現在の「千田ノ木」の場所に移ってきた経緯があります。

また、戦国時代の土地台帳である長宗我部地検帳には、屋敷や田畑等について1筆ごとに所在地や面積、人物名などが記されており、篠原地区には「池本助兵衛」や「窪田助左衛門」という名前も見られます。皆さんの先祖にあたる名前もあるかもしれません。この地検帳には「正祐寺」や「藤宮ノ前」という現在の小字にない地名もあります。小字よりも小さい単位の呼び名であったり、後世の地名の変化などで失われた地名なのでしょう。そうした地名についてご存知の方がいらっしゃいましたら、ぜひ教えてください。

これから始まる埋蔵文化財発掘調査によって、地検帳に記載のある屋敷跡や、そこで暮らした人々の食器などの遺物、さらには記録のない時代の建物跡などが出てくるかもしれません。それによって、より一層具体的で人々の息吹が感じられる歴史が語れるようになるのではないのでしょうか。

（南国市教育委員会）